

泉重千代翁像

この銅像は、かつてここに住んでいた伊仙出身の著名人、泉重千代を追悼するものです。泉は1979年に世界一の長寿者としてギネス世界記録に認定されました。泉は自分が1865年生まれだと主張していたので、1986年に亡くなった時点で120歳だったことになります。その後、彼の実年齢を疑う説も浮上しましたが、彼は変わらず島内外で敬愛され続けました。

人気者の名士

泉重千代の生前、政治家や映画スター、スポーツ選手などの著名人が彼に会うために日本各地から伊仙を訪れました。泉は相手が誰であろうと、決して拒まなかったことで知られていました。彼は来訪者に対し、1872年に製糖工場で役畜を使って働いた幼少期から始まる自らの人生を語って貰い、客人たちと黒糖焼酎を飲むのを楽しみました。彼は日本の総理大臣71代の在任期間を生き抜き、その長寿を「神様、仏様、ご先祖様」のおかげだとしていました。年齢をめぐる疑惑はあったものの、泉は健康長寿の評判を得るこの島の象徴として、徳之島に永続的な遺産を残しました。